

「令和3年度 学生 FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書」の掲載について

日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成25年度より、16学部87学科、短期大学部4学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生FDや本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生FD CHAmmit (ちゃみっと)」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から200名以上の参加者を得て開催しております。令和2年度及び令和3年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン (Zoom) 開催いたしました。

令和2年度の CHAmmit では、「オンライン授業のミライのカタチ」として、オンライン授業の改善・要望等を話し合い、学部への提案書を作成しました。これを踏まえて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、商学部において学生との協議の場を設け、「改善報告書」を作成いたしました。

第9回目の開催となる令和3年度においては、商学部で作成した令和2年度の改善報告書の内容をどこまで達成しているのか現状を整理した上で、さらに新たな課題及び提案にも目を向け、「アフターコロナ ～IT化と大学教育～」について話し合い、商学部への提案書を作成いたしました。令和2年度と同様に、令和3年度も学生・教員・職員の三者で協議した上で「改善報告書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。

今後も商学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

令和3年度 学生FD CHAmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【商学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和4年2月25日	CHAmiT参加者学生スタッフ、FD委員、教務課職員等の計4名がZoomを使用し、学部提案書、オンライン授業2年目及び一部対面授業も経験した令和3年度の気づきや良かった点、悪かった点について、及びポストコロナ「対面授業・オンライン授業」の在り方について1時間30分程度、実現に向けて意見交換を行いました。

2 学部提案書の対応について

① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
オンライン授業の課題提出ツールを統一（例 Google Classroom）または管理する方法を作してほしい。		○		令和4年度においては授業形態によらず、全ての授業においてGoogle ClassroomまたはNUe（商学部LMS）を開設することとしております。感染症拡大によるオンラインへの授業形態の変更に際しての使用だけでなく、通常時から課題提出等のツールとして使用することも目的としています。

② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
オンライン授業に慣れてしまい、教室での質問がしにくくなっている学生もいることが考えられるため、質問・発言をプラスに評価するシステムを授業内に取り入れてほしい。			○	授業形態及び評価方法については、各授業内容により学修効果が高い方法で授業方法が設定されています。今後の計画としては、学生の方々からの声を学部内にて共有してまいります。
新入生に対して在学生在が発信する場を設定してほしい。	○			入学後の最初の約1週間に開催される新入生オリエンテーションウィークにおいて、「先輩と語ろう」のコーナーがあり、在学生在が大学生活のことや新入生の質問に答えます。
相互履修制度を知らない学生が多いため、制度を広く周知してほしい。総合大学である日本大学の特徴を生かし、自分の学びたいことが定まっていない学生には学修する分野を広げるのはいいのではないか。	○			他学部の相互履修対象科目一覧及び手続き方法を、学内の情報配信ツール「学生ポータル」にて配信いたしました。
学外機関の講師が授業に来る機会を増やしてほしい。	○			商学部には「寄付講座」という名称で学外機関所属の方が講師の授業や、授業内で一部を招へいた講師の講演を行うこと実施しています。令和4年度は対面で開催するものもあるため、講師への質疑応答が可能になる等、オンライン授業からさらに学びの機会が広がります。
キャンパス入構にあたっては、日本大学健康観察システムに入構日の9日前からの体温・健康状態の入力の上、その内容から入構許可証が発行される。他大学の入構管理方法を鑑みて、また、学生の課外活動の機会を確保するためにもこの入構許可証の必要最低入力日数を縮小してほしい。	○			令和4年度からは、令和3年度に行っていた同システムの機能を利用した入構許可証の提示は行いません。キャンパスへの入構に際しては、みなさんが「日本大学健康観察システム」を利用した日々の健康管理を行うことを前提としています。なお、各門で、学生証の提示、体温チェック、手指消毒を行います。感染予防のため、マスク未着用の学生、授業等具体的な要件がない学生の入構は認められません。
オンライン授業にあたり、授業担当教員また受講学生本人のPCスキルによって授業に係る負担に差が出てしまう。学修効果に差が出ないよう、PCスキルに関する動画を作成してほしい。		○		オンライン授業の手法については、授業担当教員向けには学内においてオンラインツールの操作法のセミナー及び授業手法共有の場を設けております。学生向けには、商学部ホームページ「オンライン授業サポート関係」のページにてオンライン（遠隔）授業のサポートをするために、分かりやすいようにマニュアル等を集めた専用のページを作成しております。今後は、その積極的な周知や新たに学生向けのセミナーを設置等、検討してまいります。

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
新学期のうちは、新入生は商学部内の情報発信ツールである学生ポータルはまだ身近ではない。そこで新入生にとって身近なツールである「LINE」において情報発信をしてほしい。		○		令和4年度に開設及び運用にかかる予算を計上していないため、今後は、ニーズや運用方法を含めて検討します。当面の対策としては、スムーズに情報を得られるように運営して参ります。
オンライン授業においては、質問はチャット機能を用いて声を発しなくても質問が可能であった。この環境に慣れ、面接授業においては発言することにより抵抗を感じる学生が増えることが考えられる。そのため、発言することで評価が上がる加点式を授業で実施してほしい。			○	授業形態及び評価方法については、各授業内容により学修効果が高い方法で授業方法が設定されています。今後の計画としては、発言が促されるような方策を進めるべく、学生の方々からの声を学部内にて共有してまいります。
オンライン授業における、テストの不正行為の防止策を講じてほしい。		○		オンライン授業にける試験実施にあたっては、注意喚起を行いました。手法及び成績評価における試験結果の位置付け等運用方法の検討を引き続き進めて参ります。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 商学部から学生へのメッセージ

<p>商学部では令和4年度は原則面接授業として開講しております。皆さまの学修環境をより良くするため、教室のPCを全面的に新しくいたしました。また、今年度のCHAmiTの前後においても学生の皆さまの意見と教職員の意見の共有を進めて行きます。令和4年度商学部FD活動においても、さらに商学部の授業を良くしていくため活動しますのでご意見ご要望がありましたら、教務課までお寄せください。</p>
